

陳 情	受 理 番 号	73	受 理 年 月 日	令和4年6月17日	付 託 委員会	総 務
件 名	政策立案・決定の場への女性の積極的登用について					

政策立案・決定の場への女性の積極的登用について（陳情）

陳情の趣旨

- 1 女性委員ゼロの審議会等をなくし、積極的に女性委員を選出する。
- 2 那覇市公平委員会、那覇市農業委員会、那覇市選挙管理委員会、那覇市監査委員会、那覇市空家等対策審議会、那覇市奨学生選考委員会に女性委員を選出する。
- 3 保健・医療等の審議会に女性委員を増やす。

陳情の理由

那覇市女性ネットワーク会議（通称 あけもどろ女性の会）は、女性が輝く社会を目指して2016年（平成28年）に結成、これまでには女性センターを活動拠点に「なは男女平等推進プラン」の実現をめざして活動してまいりました。

この度、沖縄県においては、第6次DEIGOプランが作成されました。那覇市においても第4次なは市男女共同参画計画（なは男女平等推進プラン）ができ4年が経過しています。その進捗状況の勉強会をいたしました。そこで、特に女性の登用について2023（令和4年）の目標値の達成に至っていない審議会があり、一層の努力が望まれます。

具体的に見ますと市職員の内、課長以上の管理職女性は目標値17%（現在20%）を上回っていますが、審議会の目標値39%（現在37.7%）、40%未満の審議会等は25、また女性ゼロの委員会は6委員会あることがわかりました。

那覇市公平委員会、那覇市農業委員会、那覇市選挙管理委員会、那覇市監査委員会、那覇市空家等対策審議会、那覇市奨学生選考委員会において、現在女性委員ゼロになってをり、女性の登用が急がれます。さらに、那覇市保健所運営協議会では、22.1%、那覇市予防接種健康被害調査委員会では、20.0%。保健・医療分野でも女性委員の登用が遅れています。

世界経済フォーラムが毎年発表している「ジェンダーギャップ指数」で日本は、2021年現在156カ国中120位。女性の地位は先進国の中でも最下位となっています。

登用目標が達成できない要因の一つに行政委員会における女性委員が少ないことがあげられます。県都那覇市において「女性が輝く那覇市の実現」に向け、上記の事項について、是非、ご尽力くださいますよう陳情いたします。